

八 戸 市 辺 地 総 合 整 備 計 画

(令和8年4月～令和13年3月)

八 戸 市

総合整備計画書

青森県八戸市南郷地域 緑辺地
(辺地の人口 93人 面積 6.6 km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

南郷大字島守字長坂長根、外田山、外平、冷水、瘤沢、三十郎久保、横平、不習、外長根、田山、
馳下り、前平、狼穴、ガンゲン、ダダメキ、榎桃沢、大沢、東台、新山、
外平長根、駒木沢

(2) 地域の中心の位置 八戸市南郷大字島守字馳下り 11 番 2

(3) 辺地度点数 130 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は、市の南東部に位置し、不習岳（標高 375m）の山麓に抱かれた畑作地帯であり、水田は極めて少ない。平成 16 年度には世増ダムが完成し、国営八戸平原開拓建設事業により約 85 ha の農地造成が実施され、葉たばこ等による集団営農体制が確立されているほか、ワイン用ぶどうの産地化が進められている。

当地域を代表する市民の森不習岳は、市民の保健休養、レクリエーション及び水資源のかん養と自然林の保全を目的に昭和 53 年に開設され、展望台やキャンプ場等があり、多くの市民の憩いの場となっている。また、地域内の観光果樹園等と組み合わせ、地域住民と都市住民との交流の場として重要な役割を担っている。そのような中で、利用者の安全確保及び利便性の向上のため、園路等の整備が必要となっている。

交通面においては、市道島守・不習線が地域の生活幹線となっているが、急カーブや急勾配の箇所が多いため、車両の通行に支障をきたしていることから、早急な整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度まで 5 年間

(単位 千円)

区 分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
産業振興施設/ 観光レクリエーション施設 (市民の森 不習岳)	八戸市	873,888		873,888	873,600
交通通信施設/ 道路(島守・不習線)	八戸市	100,000		100,000	100,000
合 計		973,888		973,888	973,600

総合整備計画書

青森県八戸市南郷地域 古里辺地
(辺地の人口 103 人 面積 11.4 km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

南郷大字島守字売井坂、細久保、荒井沢、安藤、栃ヶ久保、ニタ又、若宮、下向、五ツ役、
長久保、古里、林下、鍋倉、土折、沢子頭、タダ越、滝ノ平、上長代、上相野、
中相野、下相野、ヒトカタキ、下長代、ヌカリ河原、姉市沢、坂ノ木沢、赤羽、
桜沢、笹平、相野新田

(2) 地域の中心の位置 八戸市南郷大字島守字赤羽 6 番 33

(3) 辺地度点数 171 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は、市の南東部に位置し、岩手県軽米町と隣接する標高 230m の山間部にある。主に畑作、畜産、水稻などの農業が営まれ、また、ブルーベリー等の観光農園が開設されている。

日常生活の面では、市中心部から約 16 km と遠距離の地点にあるため、通院・通学、買い物等に大変不便をきたしている地域である。

交通面においては、他地域への連絡道路の未整備箇所が多く、幅員が狭く、急カーブ箇所が多いため、大型バスは通行できず、特に冬期間は普通車の通行にも支障がでている。

地域内の林道は未舗装であり、豪雨時には路面の砂利等が流失し、車両が通行できない状況になるため、森林の管理作業に支障をきたしており、早急な整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画 令和 8 年度から令和 12 年度まで 5 年間

(単位 千円)

区 分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
交通通信施設/ 道路(田代・古里線)	八戸市	831,000		831,000	831,000
交通通信施設/ 道路(相畑・古里線)	八戸市	708,000		708,000	708,000
交通通信施設/ 道路(赤羽・上相野線)	八戸市	360,000		360,000	360,000
交通通信施設/ 林道(安藤線)	八戸市	67,000		67,000	67,000
交通通信施設/ 林道(第 2 安藤線)	八戸市	67,000		67,000	67,000

交通通信施設/ 林道(第3安藤線)	八戸市	87,000		87,000	87,000
合 計		2,120,000		2,120,000	2,120,000